

# 臨時農業生産情報

(降霜に対するりんごの技術対策)

平成21年5月8日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

4月中旬～下旬に県内全域で降霜があり、地域や品種によっては、中心花の発育不良や雌しべや葯の褐変などがみられています。このため、園地の開花状況をしっかり観察し、下記により適正な栽培管理に努めてください。

りんごの「ふじ」の開花日は5月4日と平年より4日早まりました。このあとも油断することなく霜害防止対策に万全を期してください。

## 1 授粉

降霜による影響を受けた園地では、人手授粉を行い結実確保に努める。

## 2 摘花

(1) 中心花の雌しべが褐変している花そうが多い園地では、一つ成り摘花を極力控え、腋芽花（新梢花）や不要な花そうを摘む程度にとどめる。

(2) 摘花剤の使用については、開花量や花そうの状態を確認して散布する。

## 3 摘果

(1) 一つ成り摘果は実立ち（結実）を確認してから行う。

(2) 中心果だけで結実量が確保できない園地では、生育の良好な側果を残すようにする。

## 4 霜害防止対策

(1) 一般に、降霜は晴天無風で、前日の午後7時の気温が6℃以下の時に危険性が高くなるので、ラジオ、テレビ等の気象情報に十分注意する。

(2) 防霜ファンの始動温度は2℃に設定し、燃焼法では気温が0℃になったら点火する。



### 【お知らせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンや携帯電話にメール配信するサービスを実施しています。

青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。

### 報道機関用提供資料（連絡先）

担当課	りんご果樹課 生産振興グループマネージャー 田中総括主幹  〔農林水産部 小笠原次長・報道監〕	
電話番号	(内線)	3265(3181)
	(直通)	017-734-9492